

重い病などにより人が死に向かいあう現場において、心のケアに宗教者の関わりが求められています。日頃より信仰のある方は、穏やかに最期を迎えられることが多く、ターミナル期の患者の精神的な苦悩に「宗教」の持つ力をどう生かしていけるのか、緩和ケアに携わっている医師、臨床宗教師、在宅での看取りを体験されたご家族からお話して頂きます。